

平成26年11月

ご参詣の皆さまへ

佛乗寺 笠原 建道

本日の宗祖日蓮大聖人様の御会式にあたり、皆さまが万難を排して御参詣になり、心と身を尽くして御報恩に励まれる姿を大聖人様をご覧になり、お喜びになるとともに、「ご苦労さまでございます」とお言葉をかけて下さっている事と拝察いたします。

お陰様で我が佛乗寺は、御法主日如上人からの御命題を無事に達成する事ができました。この御命題とは、平成21年7月に佛乗寺を菩提寺として広宣流布を願って精進される檀信徒の人数を基本として、日興上人御生誕770年の佳節にあたる明年の3月8日までの6年の間に、50パーセント以上に増やしてまいりましょう、というものです。

その目標達成を、今日のお会式で御本尊様に御報告ができましたのも、広田正至講頭・総代をはじめとする檀信徒お一人おひとりの、自らの幸せと世界中の人たちの幸せが叶う、日蓮正宗富士大石寺の「南無妙法蓮華經」を弘めよう、との貴い思いと行動が実を結んだものです。

皆さまの素敵な心と行動に、過ぎ去った時の「罪障消滅」と、現在の「こころ豊かな日々」、さらに未来には「良いところに生まれあわせる」という大きな大きな徳が備わったことを確信いたします。

本日の意義深き法要を契機として、次なる御命題である、「世界中で法華講衆を80万人に」を目標・励みとして、前進をしてまいりましょう。

御会式の御供物として『大石寺案内』を用意いたしました。本年6月に改訂出版されたもので、総本山の諸堂宇の最新情報です。

冒頭に「大石寺縁起」がございます。これに目を通すだけで、日蓮正宗の精神である、

日蓮大聖人様の正当な流れは富士大石寺にある事

本門戒壇の大御本尊を根本とする事

謗法を戒める事

世界平和を願って前進する事

がご理解いただけると思います。

この冊子を御供物として用意いたしましたのは、本門戒壇の大御本尊様を御安置申し上げる奉安堂はいうにおよばず、総本山の各建物の全てが折伏のためにある、といっても過言ではないからです。

例えば、6ページの「三門」を開いて下さい。徳川幕府六代将軍・家宣公の夫人、天英院（てんねいいん）が寄進したものであることが記されております。

天英院は將軍家に嫁ぐ前の名を近衛熙子（このえひろこ）といいます。五撰家筆頭の近衛家の出です。父親は近衛基熙、母は第108代・後水尾天皇の娘で常子内親王です。つまり天皇の孫、ということになります。

また24ページには「御影堂」があります。御影堂の建立願主の敬台院（きょうだいいん）は阿波徳島藩主・蜂須賀至鎮夫人です。敬台院は織田信長と徳川家康の曾孫にあたることにご承知だと思います。日本史にその名を残す二人の天下人の血を受け継いだ唯一の方が敬台院です。

42ページには、時の御法主上人と、天英院や譜代大名の板倉勝澄公をはじめとする檀信徒の護法の信仰により建立された、国の重要文化財であり東海道沿線随一といわれる五重塔が紹介されております。

これらの紹介をするのは、ことわざに「百聞は一見にしかず」とあることからもわかりやすく、言葉を尽くして説明するよりも、一目見ることによって理解を得られることもあると思うからです。

折伏のおり、「日蓮正宗」と名乗りますと、いまだに「創価学会」と混同され、いかがわしい新興宗教のように思っている方に出会うことが少なくありません。そのような時に、この『大石寺案内』を見せて、迷妄を開く一助としていただきたいと思います。明治の文豪・大町桂月が「大石寺を見ずして寺を語ることなかれ」といっておりますように、総本山は日本第一の寺院なのです。自信と誇りを持って日蓮正宗のことを伝えてまいりましょう。

ここに名前がある方々は、過去世の因縁で名が知られる立場となり、その立場から日蓮正宗の信仰を世の人々に弘める役を担われたのです。したがって、法華講衆としての後輩である私たちが、その方々の事蹟を知り、それをもって大聖人様の正しい教えを伝えることで、私たちもまた日蓮正宗の信仰の歴史の中に名を残すことになる、といえます。

名を残すといっても、「名聞・名利」や「蔵の財・身の財」ではなく「心の財第一」が私たちの信仰の目的です。心の財を積む最高の修行は折伏につきます。檀信徒の皆さまには、御会式の御供物として『大石寺案内』を用意した意をお汲み取りいただき、存分に活用していただくことをお願いいたします。

御会式が済みますと一段と寒さが厳しくなります。強い北風に身の縮む思いをする時もありますが、御本尊様はどのような北風であっても、それを防ぎ私たちが凍えることがないように必ず御加護をして下さいます。御会式に参詣された功德を確信し、北風に背を向けることなく前を向いて、明るく楽しく朗らかに進んでまいりましょう。

檀信徒の皆さまの益々のご健勝を強盛に御祈念申し上げます。ご苦勞様でございました。